

2023年9月 (No.411)

主な内容とページ

停滞する世界の半導体貿易.....	1
半導体輸入、最大国の中国が大幅減	2
EU、米国、タイ、インドネシアなどは増加.....	3
低調だった上期の中国、香港の半導体輸入.....	4
中国の輸入伸び率、過去最低か	4
輸出では韓国が最大落ち込み.....	5
中国、個別デバイスで半導体の輸出大国へ	8
描けないコロナ後の新時代(SRL だより)	10

停滞する世界の半導体貿易

世界の半導体の中心市場である中国の半導体輸入が停滞、今年は一層冷え込んでいる。

1. 中国の半導体輸入は昨年前年比 4.0%減そして今年上期は同 22.3%減だった。世界の半導体消費の落ち込みに比べて中国のそれは上回り、世界半導体市場の停滞を象徴している。
2. 米国、欧州、タイ、インドネシアなどの半導体輸入は今年上期で前年比増。一方、韓国の輸出は激減。IC に対しトランジスタ、オプト、パワーデバイスの貿易が活発になるなど明暗鮮明だ。
3. IC 以外のトランジスタ、オプト、パワーデバイスなどで半導体ブームは持続しており、中国はこの分野で存在感を急速に高め、構造変化が進んでいる。

描けないコロナ後の新時代

新型コロナ肺炎は2019年末に発見され、そこから4年余り。世界は、大きく揺さぶられ、この間、ウクライナでの戦争、今年は異常気象、半導体では、世界規模の品不足、国を挙げての産業支援、自動車の供給制限など、大きな出来事がまとめて起こっている。

肺炎への対策、防護は進められ、半導体不足も改善されてきたが、戦争の行方は、不明。米中対立も激化、エネルギー高騰、温暖化、食糧危機などの悪化はとまらない。一方で米国の一人勝ちともいわれ、中国は押され気味で世界の分断は進む。中国に向かって投資がアジアや日本に向かうのか、大きな変化だろう。

新たな時代に入りつつあるが、その中身はもう一つはっきりしない。米国は、大統領選を控え、内外ともに積極的な姿勢を維持するとしてもいつまでも一人勝ちは続かない。わが国は、真の成長が急務だが、これまでの延長ではなく、新機軸を打ち出せるか。なかなか新時代を描けないのは私だけだろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 9 月 (毎月 1 回発行) 第 34 巻 9 号 (通巻 411 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

September 2023, No.411

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)